学校番号	3032B

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	１単位	年次	３年次後期
使用教科書	新編　生物基礎　（東京書籍出版）						
副教材等	ニューステップアップ　生物基礎 新課程（東京書籍出版） 二訂版　ニューステージ　生物図表（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「生物に学び，生物を知り，人を知る。」

生物学は生物を探究する学問です。そして自分たちヒトとは何かを探究する学問です。「身近な物事を，理科や生物の観点から考えるとどう見えるのか」を常に意識して学んでください。

生物に興味を持つ生徒，進路に関係する生徒は選択してください。授業中の取り組み姿勢や科学的に考える力，単元テストの結果を重視します。生物や生物現象を覚えるだけではなく，科学的に探究する力が求められます。目的意識をもって，半年間しっかりと取り組んでください。

授業ではプリントを使用するので，まとめるためのファイル（Ａ４判）を用意すること。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め，目的意識を持って観察・実験などを行い，生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに，生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方の育成をめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身につけている。 生物や生物現象に関する観察・実験などを行い，基本操作を修得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録・整理し，自然の物事・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，それらの過程や結果を的確に記録・整理し，導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち，意欲的に探究しようとするとともに，生物の共通性と多様性を意識するなど，科学的な見方や考え方を身につけている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	ヒトの体の調節	ヒトの体を調節するしくみ 免疫のはたらき	a：体内環境の維持に自律神経とホルモンが関わっていることを理解し、知識を身につけている。探究活動を行い、調査・考察した事象を的確に記録、整理している。 b：病原菌等の遺物を排除する仕組みについて考察し、導き出した答えを適切に表現している。 c：体内環境について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	小テスト 単元考査	単元考査 ワークプリント 実験や探究活動時の記録	教材プリントの取り組み、学習状況,問題集等の提出物
	生物の多様性と生態系	植生と遷移 生態系と生物の多様性	a：陸上には様々な植生がみられ、長期的に移り変わることを理解し、知識を身につけている。生態系を循環する物質や、エネルギーの流れについて理解し、知識を身につけている。 b：観察実習の中で探究活動を行い、観測した事象を的確に記録、整理している。 c：生態系のバランスや気候とバイオームに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	小テスト 単元考査	単元考査 ワークプリント 実験や探究活動時の記録	教材プリントの取り組み、学習状況,問題集等の提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度